# 🕮 図書館だより Y ぶらりー 🕮 横浜商業高等学校 2025年度 第3号

一学期末の大掃除の日に、数人の３年生が図書館に来て「今回の大掃除は担当が無いので、いつも使っている図書館を掃除します」と図書館をきれいにしてくれました。そんな Y 校生に支えられている図書館から『シンプルライフをめざす基本の掃除＋住まいの手入れ』婦人之友社（597 シ）を紹介します。掃除をすることで、整理された清潔な空間だけでなく、気持ちにも体にも良いことがたくさん得られそうです。　　司　書

## 🕮　図書委員、南センターの子育てイベントに参加　🕮

夏休みに入ってすぐの７月２５日（金）に、弓道場の隣にある横浜市の南センターにて、数名の図書委員による紙芝居や絵本の読み聞かせイベントが行われました。南センターの副館長さんは Y 校の商業科の先生だった方というご縁もあり、昨年の POP の展示に続いてコラボイベントが実現しました。当日はタウンニュースの取材も入り、緊張しながらもちびっこたちに優しく読み聞かせを行う高校生が、やたら頼もしく見えました。今回使用した絵本や紙芝居、紙芝居実演用の木枠舞台はいつでも貸し出し可能です。





７月３１日付　タウンニュース中区西区南区版より

## 🕮　横浜市中央図書館にて　市立高校9校連携展示　🕮

野毛の坂の上にある中央図書館にて、横浜市立高校９校の生徒や先生方のおすすめ本を紹介する「市立高校大集合！　ハマの高校生、先生の推し本」のコーナーが設けられました（９月１５日まで）。Y 校の図書委員は委員が作成した POP を飾り、タイトルの貼り出しなどを行い、他校の POP の設置まで協力し、そのご褒美として普段見ることのできない図書館のバックヤードをのぞかせてもらいました。



## 🕮　ペップトークの本　🕮

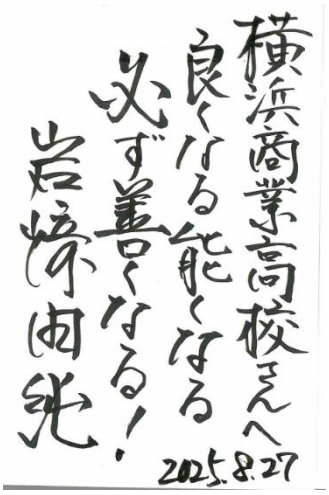
〇『心の中の「つぶやき」で人生が決まる』岩﨑由純　著　　三笠書房（B336 イ 文庫コーナー）

先日行われた人権講演会の岩﨑先生によるペップトークの話は、目から鱗がポロポロと落ちるほどの素敵な気づきがたくさんありました。寄贈された（じゃんけんで勝ち取った本ではなく）著書を手にとって、友達同士で前向きな言葉をつぶやいている生徒を見かけ、言葉のちからの大きさを感じています。また、心に響くひとことが美しい文字で記された日めくりカレンダーや、「心の誠」としたためられた色紙もいただきました。みなさんにとっての「心の誠」って、何ですか。










## 🕮　ファッション造形基礎の授業から　🕮

家庭科の「ファッション造形基礎」という授業で、図書館の雑誌を使い、素敵なブラウスが出来上がりました。自分のサイズに合わせた自分だけの服って憧れます。ベルトやアクセサリーで着こなしにアクセントをつけたり、裾をボトムスに挟んだり、ファッショナブルなＹ校生の姿がまぶしいです。最新号でなければ雑誌の貸し出しも可能です。　家庭科Ｎ先生からのコメントもどうぞ。

今回は『すてきにハンドメイド』で紹介されていた初心者向けのブラウス作りに挑戦しました。ほとんどの生徒が洋裁は初めてでしたが、試行錯誤を重ねながら、ブラウスの構造や基礎的な技術を身につけることができました。デザインは少し大人向けでしたが、「形になる達成感」を味わうことができました。
現在は、２学期の課題として、自分のサイズに合わせたスカートの制作に取り組んでいます。
完成が楽しみです。

〇「すてきにハンドメイド 2025 年 1 月号」（NHK 出版：日本放送協会）



















## 🕮　今月のおすすめ本　🕮

「猫なの🐈犬なの🐕」というコーナーができました。 犬や猫が登場する小説や、美しい写真集、飼い方の本、歴史の中の猫の本など、ちょっと癒される本を集めてみました。その中でもおすすめの２冊を紹介します。

○『猫を処方いたします』石田祥　PHP 研究所（B913.6 イ文庫コーナー）

京都の街の路地裏のビルにある怪しげなメンタルクリニックでは、本物の猫が処方されます。猫を処方ってどんな突飛な話？といぶかしんでいましたが、猫好きな方に強くすすめられたので期待せずに読んでみたら、あったかいお話に心がときほぐされ、私もＹ校生におすすめしたくなりました。「しんどい時は我慢せんと、猫に頼ったほうがええんです」と猫に頼ることができたら、つらいこともいつの間にか乗り越えられているかもしれない、やっぱりどこか現実離れした世界の話だけれど、ちょっと前を向いてみようという気持ちが湧いてくる、優しい本です。

○『存在の耐えられない軽さ』ミラン・クンデラ　集英社（B989 ク　文庫コーナー）

恋愛や冷戦下のチェコの情勢に関することが話の核となっている小説ですが、カレーニンという犬が大事なところで印象的に登場します。長い物語の後半は哲学的になってきて、身近な人の存在を軽さや重さで表現する場面がありますが、犬のカレーニンはそういった比較の対象にすらならず、もちろん嫉妬の対象にも入らない、無欲の愛だけがあることが描かれています。なかなか手に取りづらい本ではありますが、とっかかりが犬だとしても、高校時代にいろいろな本に触れたら、また新しい世界が見えてくるかもしれません。



## 🕮　日商簿記１級合格！　🕮

大学生でも取得は困難といわれている日商簿記１級の試験に、本年度もＹ校生が合格を果たしました。数名の受験者の中には、惜しくもあと数点で合格できたのに……という硬式野球部員も。コツコツ頑張るのは大変ですが、同じ志をもつ仲間がいる環境で目標にむけて切磋琢磨する姿はとても清々しく映ります。図書館には、簿記の受験に役立つ知識を広げる本があります。せっかくＹ校に来たからにはもうひとつ上を目指してみませんか。

○『合格するにはワケがある　脳科学×仕訳日商簿記１級』桑原知之編　ネットスクール株式会社（336 モ参考書）

仕訳に関する大事なことが重要度別に書かれています。シンプルな紙面構成でポイントがつかみやすく、脳に直接入っていくように作られているという宣伝文句に乗って頑張ってみたら１級の世界が近づいてくるかもしれません。

○『日商簿記２級の後に学んでおきたい１２の知識』中村雄行著　ネットスクール株式会社（336 ナ参考書）

理論的な考え方を学び、実務に役立ち、まわりを幸せにできる簿記の知識を身に着けられるように書かれた本です。「量販店で買うのとネットで買うのはどっちが得？」「安いが電気代がかかる冷蔵庫と高いが省エネの冷蔵庫、どっちが得？」など、身近な問題にも直結している例がたくさん挙げられているので、これらを理解するために頑張ってみよう、という気になりそうです。

## ～ 図書委員会からのお知らせ ～

図書委員会がおくる「百人一首占い」で、あなたの今日の運勢をチェックしよう！
図書委員会マスコットキャラの投票も同時開催！
場所は図書館前です。
気軽にご参加ください！！



# Y校アーカイブ　vol. 32　「学　生　帽」







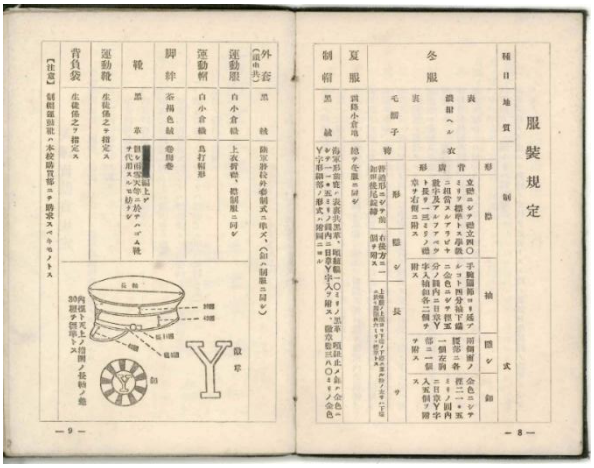

現在の制服に学生帽の規定はありませんが、以前に使われていた学生帽が残されておりました。

帽子の内側には、伊勢佐木町にあった横浜松坂屋の名前が見られます。氏名やクラスは書かれておらず、元の持ち主はわかりません。「58」とあるのは、1958年か、昭和58年（1983年）かと悩んだのですが、どうやら帽子のサイズのようです。1979年に卒業されたＳ先生に学生帽の思い出についてうかがったところ「学生時代にはあまりかぶってはいなかったけれど持参しなければならず、校門で学生帽チェックがあった」と懐かしんでいました。1980年代にY校に赴任されていた先生からは、修学旅行での写真撮影のために学生帽を持たせていたと聞き、1985年の卒業アルバムを確認したところ、修学旅行のページには多くの生徒の頭に学生帽が見られました。その後いつ学生帽が廃止となったのか、今のところわかる資料がありません。

制服の制定は明治26年、学生帽も同時に制定されたようです。大正5年の卒業アルバムでは全員が着帽していますが、関東大震災後の大正14年のアルバムを見ると、学生帽ありなしだけでなく、着物の生徒もおり、おそらく震災であらゆるものが焼失してしまって帽子どころではなかった様子がうかがえました。

明治の開校時には横浜の港の近くにY校があったので、「横浜に上陸したら先ず“Yボーイ”をつかまえよ。大きな帽子に「Y」のバッジを付けた少年港の近くにいるから、誰でもよい、その“Yボーイ”の一人をつかまえれば安心というものである。彼が横浜の道案内をしてくれるのだ（『Y校八十周年記念誌（P26）』）」と、当時のY校生の英会話力がうかがえる文章もありました。また、太平洋戦争時には「Y」の字を「横商」に変えなければいけなかったことも書かれています（『Y校七十周年記念誌（P62）』）。

昭和12年に入学した方から寄贈された生徒手帳には、学生帽について細かい記載がありました。




昭和１２年卒　生徒手帳より



大正１４年　卒業アルバムより